

## 「さくらホームステイバンク」に関する Q&A…2025

Q1：ホストファミリーって何をするのですか。

A：日本の文化を体験したいキャンブライア生を、「日本の家族」としてご家庭に受け入れてもらいます。一緒に生活して日本の家庭生活を体験することにより、日本についてより深く知ってもらうことが目的ですので、特別なことをする必要はありません。キャンブライア生は、桜高生と一緒に登校し、学校生活を送ります。共に帰宅した後は、それぞれのご家庭のペースに合わせて夕食や団らんを楽しんでください。

Q2：英語が得意でないけど、大丈夫ですか。

A：日本への研修旅行にやってくるキャンブライア生は、授業で日本語を学んでいます。日本語で話すことは彼らにとっての勉強になります。もちろん、伝わらないときは英語が役に立ちますし、この機会に英語を使ってみようという桜高生自身へのチャレンジにするのもいいですね。身振り手振りを交えながらも、お互いが何かを伝えようとする姿勢を持つことが、コミュニケーションをとるうえでは最も重要なことです。

Q3：キャンブライア生専用の部屋が用意できませんが、大丈夫ですか。

A：特別に部屋を用意する必要はありません。ご家庭によって住宅事情は異なるとは思いますが、もし空いている部屋（例えば、家を出ている兄弟姉妹の部屋など）があればそちらを利用いただければ幸いです。これまでも、桜高生と同じ部屋で生活する、または桜高生の兄弟姉妹と同じ部屋で生活することが多かったようです。家にお友達が泊まりに来た時の対応と同じようなものだと考えてください。

Q4：食事はどうすればいいでしょうか。

A：「お客さん」ではありませんので、豪華な料理を用意する必要はありません。むしろ、本などからは学べないような日本の生活を実際に体験するという意味で、普段通りの献立が望ましいです。家族が一人増えたと思って、自分のたちの普段の生活にそのまま混ぜてあげてください。昼食に関しては、必要な時は桜高生と同じものをお弁当として持たせたり、食堂を利用させたりしてください。ただし、アレルギーや宗教上の理由で食べられないものに関しては、ご配慮をお願いします。

Q5：ホームステイバンクに登録した場合、必ず受け入れをしないとイケないですか。

A：原則、受け入れていただく予定です。ただし、桜ホームステイバンクへの登録家庭数や受け入れ生徒の男女比などの諸条件により、受け入れをお願いしない場合もあります。

Q6：ホームステイの受け入れは、必ず4泊5日ですか。

A：原則、4泊5日の予定です。また、各家庭の事情により受け入れ日数の調整は可能です。

Q7：ホームステイ受け入れをした場合、オーストラリア派遣応募時に配慮されることはありますか。

A：ホームステイ受け入れた場合、次年度のオーストラリア派遣時に優先的に派遣対象生徒させていただきます。

Q8：受け入れ生徒の登下校はどうすればいいですか。

A: 原則、受け入れ生徒と登下校をお願いします。

Q9：キャンブライア生の通学は自転車でもいいですか。

A: キャンブライア生は、自転車に乗った経験がない学生がほとんどです。仮に経験があっても、交通事情がかなり異なるため、安全面から公共交通機関の利用をお願いしています。登下校にかかる費用については、キャンブライア生および桜高生の交通費の実費を別途清算いたします。(桜高生についても、ホームステイ中は公共交通機関を利用して、キャンブライア生との登下校をお願いします)

Q10：キャンブライア生が滞在中、クラブ活動はできないのですか。

A: いいえ。桜高生は普段通りの生活を続けてください。桜高生のクラブ活動中は、校内でキャンブライア生が待機できる場所を用意します。ただし、各クラブの先生方にも学校から協力要請をしますので、キャンブライア生の滞在中は、朝練を免除してもらうことや放課後の練習時間を短縮して参加することなども検討してください。せっかくの機会なので、できる限り多くの時間をキャンブライア生と過ごせるようにしましょう。

Q11：キャンブライア生が滞在中、クラブの遠征と重なってしまうかも。

A: クラブの遠征日程がわかり次第教えてください。万が一、キャンブライア生滞在中の全日程が重なってしまうようなことがあれば、ホストファミリーの交替をお願いすることになります。遠征と重なる日が1日ある等であれば、ご家族の理解を得たうえで、ホストファミリーとしてキャンブライア生との時間を楽しんでください。

Q12：観光などに連れて行ったほうがいいのですか。

A: 無理をして連れていく必要はありません。キャンブライア生は、日本研修旅行として来ていますので、その中には観光地も含まれています。普段の日本の生活を体験してもらうことが目的なので、もともと家族で予定が入っているものに一緒に参加してもらう、という考え方で充分です。ホームステイ中に休日がある場合は、ご家族の判断におまかせしています。

Q13：ホストファミリーに対して、金銭的な補助はありますか。

A: はい。キャンブライア生からあずかったお金から、1日あたり3000円程度を、食費等の必要経費の補助としてお渡しします。(余剰分返金の必要はありません) また、万が一に備えて、キャンブライア生は保険には入っています。